

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	インディアナ大学	参加 プログラム名	インディアナプログラム	国名	アメリカ
氏名		学籍番号		学科	多文化・国際協力
参加時の 学年	2年	参加費用 (日本円での概算)	100万円		
参加日程	2024年 7月 6日 ~ 2024年 7月 28日 (3 週間)			記入年月日	2024年 11月 8日

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

津田塾大学は英語に強いと言われているが、自分の実力がどこら辺なのか実際にはわからなかったので英語圏の国に行くことでどのくらい通用するのか知ることができたからです。また、大学で学ぶだけの英語ではなく、実践で使う英語を学ぶことができると思ったこともあります。

② プログラムについて

研修・活動の感想

日本の授業では座学がメインで楽しさよりも学びが重視されていますが、アメリカでは実際に自分で体験することで学ぶことに重きを置いていると感じました。そのため、楽しい思い出の記憶と共に学習内容を身につけることができました。これまでの学びとは少し違ったものだったので新鮮さもあって積極的に授業に参加することができました。

研修・活動以外の部分についての感想

全てが英語の環境というのが今までなかったのが初めは慣れない中、うまくコミュニケーションが取れず苦戦しました。しかし、ホストファミリーや現地ですぐにできた友人が優しく向かい入れてくれたので話すことが楽しくなり、自分から話しかけることも増えました。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません

美術館やお土産屋さんを一緒に回りました。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

今までは学んでいる英語がどう活かせるのかわからなかったけれど、実際にアメリカに行き、現地の英語を体験したことで、学んだその先の活かせない英語について学ぶことができました。そのため、プログラム参加後は、英語に対するモチベーションが上がり、以前よりも積極的に学習に励んでいます。また、現地で知り合った友人とも現在でも連絡を取り合っていて、英語でのコミュニケーションに対するハードルも下がったと感じています。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

語学研修に行くことで、英語に対するハードルが下がると思います。旅行ではなく学習のために海外に行くとなると、わからないことも多く不安に感じて踏み出せない方もいると思います。しかし、津田塾大学のプログラムであるため、安心して学びに専念できる環境が整っているので、すごくおすすめできます。